

〔 横浜市市民文化会館関内ホール 〕
令和6年度業務計画及び収支予算
〔 かんないアート&メディアパートナーズ 〕

(株) t v k コミュニケーションズ・(株)テレビ神奈川・神奈川新聞社・
(株)清光社・(公財) 横浜市芸術文化振興財団共同事業体

※ 文中の事業欄において、●：主催事業 ○：共催事業を示します。
※ 文中の達成指標欄において、□：定量的指標 ■：定性的指標を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市市民文化会館関内ホール
所在地	横浜市中区住吉町4-42-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上5階地下2階建
敷地・延床面積	延床面積 8,967.51㎡
開館日	1986年(昭和61年)9月27日

2 指定管理者

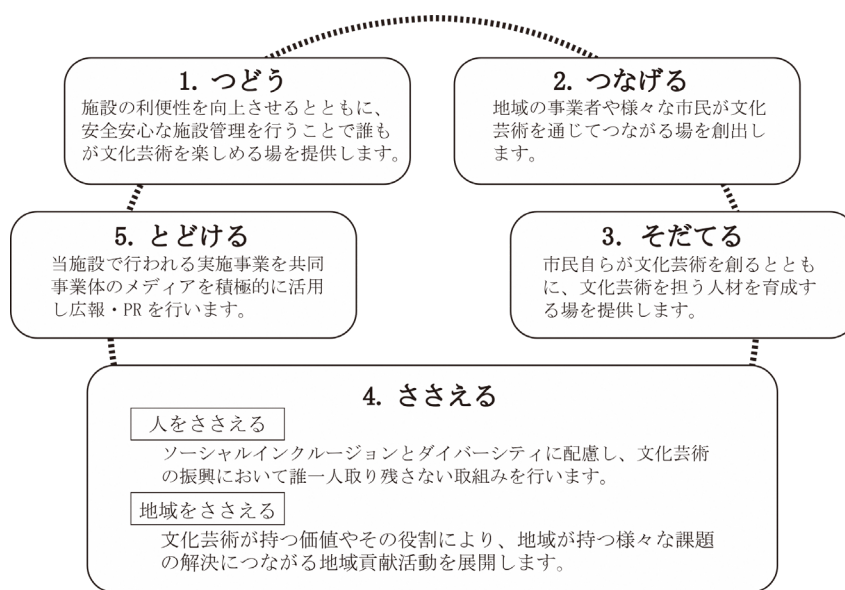
法人名	株式会社 t v k コミュニケーションズ
所在地	横浜市西区西平沼町6-1 tvk ecom park (ヨコハマくらし館内)
代表者	代表取締役社長 熊谷典和
設立年月日	昭和49年9月10日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	令和4年4月1日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜市の文化芸術政策等への貢献を念頭に、施設の特性や馬車道エリアという立地を活かし、施設のミッションである「文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場の提供」「文化・芸術の鑑賞の機会の提供」「次世代を担う人材の育成」「地域のにぎわいの創出」等を実現するため、3期15年間の運営経験と5社共同事業体の持つ専門性を活かし、下記に示す5つのコンセプトと6つの使命に対する基本方針で関内ホールの管理運営に取り組めます。

◆ 5つのコンセプト



◆ 6つの使命と基本方針

1. 〈使命1〉 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場になる

- ①各種法令、条例、規則などを遵守し、あらゆる市民が利用し易い環境づくりを行います。
- ②施設利用者に対し、全職員のきめ細かな接遇やワンストップサービス（生花、弁当、機材等の手配）を実施することで発表、集会等、様々な文化的活動を支援します。
- ④利用者に対する定期的なアンケートやヒアリングを行うとともに、苦情があった際は対応フローに基づいた適切な対応を行った上で、今後の改善策を検討します。

2. 〈使命2〉 文化芸術の鑑賞機会を提供する

- ①地域の文化振興のニーズに応えるとともに、新たな文化芸術にも着目し、市民のための文化施設としてこれまでの文化芸術の継承と更なる拡がりのある鑑賞事業を実施します。
- ②市民参加型のシンボリックな事業への参加、体験型事業やアウトリーチ事業の積極的な実施により、市民の文化芸術についての意識を醸成します。
- ③ソーシャルインクルージョンに配慮し、障がいの有無に関わらず、一人でも多くの方に文化芸術の鑑賞の機会を提供します。

3. 〈使命3〉 次世代を担う人材を育む

- ①乳幼児対象や幼児から学童対象、小中学生等、子どもの成長段階や興味に合わせて、文化芸術に触れる多彩な機会を提供することで未来のアーティストの芽を育てます。
- ②若手ジャズミュージシャンの発掘や育成に向けてのステップアップ方式の演奏機会を提供すること等により、新進アーティストが活動の機会を広げる支援を行います。
- ③横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』に積極的に協力し、市民に向けた文化芸術活動に係る講座を開催することで、文化芸術活動の担い手の育成にも取り組みます。

4. 〈使命4〉 地域のにぎわいを創出する

- ①地元の馬車道商店街などに対して、広報活動の支援や地域イベントへの協力、クーポンサービスなどの実施により、連携・協働して地域の賑わいづくりを推進します。
- ②当共同事業体の強みを活かした様々なプロモーション活動を実施するとともに、地域文化の継承の役割も担います。
- ③地元事業とのタイアップや様々な関連団体との連携を行うことで地域の賑わいを創出するとともに、新たな地域貢献にも取り組みます。

5. 〈使命5〉 利用者の視点に立ち持続可能性を高める施設運営を行う

- ①これまでの当施設の管理運営ノウハウを発揮し、日々の施設点検と早期の修繕実施による施設の長寿命化を実現します。
- ②様々な災害を予見した、マニュアルの作成や職員への訓練、利用者に対する安全の確保を行い、施設の安全安心な利用を第一に考えます。
- ③公演開催時には多くの方が利用される施設であるため、業務基準を上回る清掃を実施することで、施設の安全性と美観を保ちます。

6. 〈使命6〉 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。

- ①新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による休館や利用者の制限があった際には、市と協議の上で速やかな対策を実施するとともに、制限が解除された際にすぐに安全が確保できる体制を整えます。
- ②感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下、安全安心な自主事業を開催するとともに、無観客ライブ配信や有観客とライブ配信を組み合わる等、状況に応じた事業を実施します。

(2) 令和6年度の業務の方針

*全体について

今年度は、「かんないアート&メディアパートナーズ」として3年目となり提案書に掲げた業務を推進していきます。

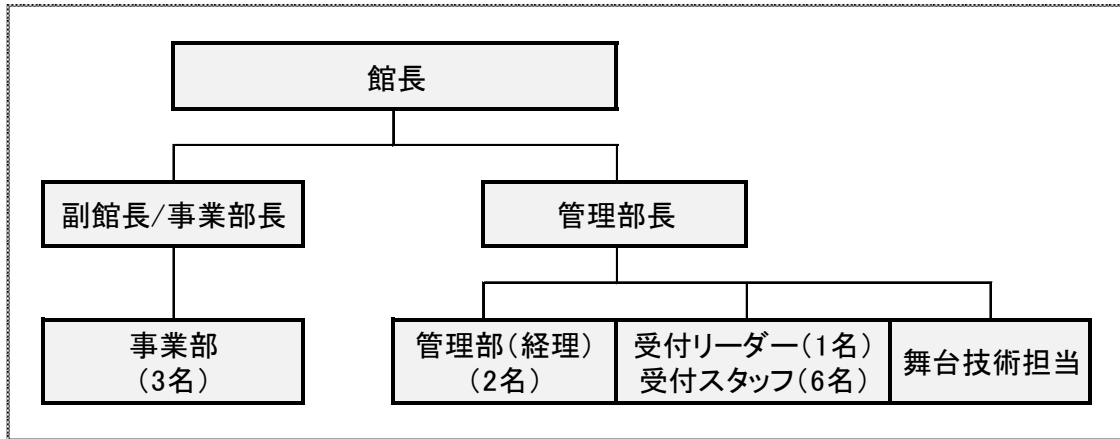
コロナ感染症の影響はなくなりコロナ禍以前に戻ってきていますが、基本的な感染症対策については引き続き実施してまいります。燃料価格の高騰は電気使用料、ガス使用料においては依然として収支計画に大きく影響していますが、文化・芸術の拠点としての市民文化会館の機能が果たせていけるよう取り組んでまいります。

前年度もサービスの一環として無料で取り組んできた動画配信やオンライン会議などは需要も減少していますが引き続き取り組んでまいります。

地元商店街や近隣大学などとの文化事業による連携については、関内ホールが中心となり地域の結節点としての役割を担い地域の賑わい創出に寄与します。

4 運営組織の構造、人員配置

◆組織図



- *互いに業務を補完しマルチジョブによる効率的で効果的な体制を構築します。
- *施設の管理にあたっては、専門分野の人材を適正に配置します。
- *高い意欲と実務経験を保有する職員が、各々の専門性を発揮し、市の施策や施設の役割等を十分に理解した上で業務を実施します。
- *専門スタッフにより、地域特性を熟知した事業企画や幅広い広報活動を実施します。

5 令和6年度の業務の取組

(1) 文化事業

文化事業への取り組みはコロナ禍以前に戻りつつあり提案書の計画に基づいた計画の実施に取り組めます。今年度の陽だまりコンサートにおいてはソーシャルインクルージョンの理念に沿った取り組みを実施してまいります。

また、これまで収益の軸であった落語公演については、新たに地元の噺家をフューチャーした企画を実施し。これまでは、主催事業の予算規模を拡大してきましたが、今後は、収支リスクのある主催事業の実施から、リスクのない共催・協力事業の誘致をさらに促進し、市民の鑑賞機会のさらなる拡大に努めます。

地域との連携による賑わいの創出について、馬車道商店街との協力関係は強固なものになっていますが、住吉町商店街、関内まちづくり振興会など他の団体とも連携し、地域連携の取組を強化していきます。

文化事業の実施においても基本的な感染症対策は引き続き実施してまいります。

■今年度の実施予定事業

〈鑑賞事業〉

1,000席の大ホールを持つ関内ホールの重要な役割の一つが、市民への多彩で質の高い鑑賞機会の提供です。今年度も、共催・協力事業を含め60公演以上の実施を予定しています。

主催事業では、人気の関内寄席を継続していくとともに、音響効果が大きく改善した大ホールを活用したコンサートや、小ホールを活用し若手演奏家の演奏機会を与えられる企画の実施に取り組めます。

〈ソーシャルインクルージョンに配慮した鑑賞機会の提供〉

障がいのある方々の参加促進のため、新進アーティストコンサート等で障害者割引やキャッシュバックなどにより経済的な負担の軽減に努めます。

地域の障害者支援施設や社会福祉協議会など地域団体・行政と連携し、障害のある方々の鑑賞機会拡大のための協力体制を整えます。

また、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザとの3館連携事業として取り組んでいるインクルーシブな文化活動の取り組みを継続していきます。

〈横浜が誇る文化芸術事業への協力〉

横浜を代表するイベントである「横濱ジャズプロムナード」や「ヨコハマ映画祭」、市内の小学4年生を対象としたバレエ鑑賞会「心の教育・バレエの世界」の実施に向けた協力を行います。

〈次世代育成事業〉

0歳から参加できる乳幼児向けコンサートや落語の成り立ちなどを学びながら楽しめる「子ども寄席」など多彩な鑑賞機会を提供します。子どものためのバレエなど質の高い鑑賞体験が提供できるよう積極的に誘致に取り組めます。

また、一般公募による「こどもミュージカル」等、参加体験の機会を提供します。

“教育プラットフォーム「学校プログラム」”については2校以上のコーディネートを担当し、アーティストを派遣します。

〈新進アーティスト支援事業〉

玄関前ステージでのストリートライブと小ホールの若手演奏家によるコンサート企画を再開するほか、老舗ジャズ喫茶「ちぐさ」が主催する新人ジャズミュージシャンの登竜門とされる「ちぐさ賞ライブ」や日本バレエ協会が主催する若きバレエダンサーのための新人コンクールの安定的な実施時協力します。

また、今年度は地元のアーティストをピックアップした事業展開を行い、地元アーティストに活動の場を提供するなど様々な支援を行っていきます。

〈市民の創作活動のための機会の提供〉

観客も共に歌うクラシックコンサート「陽だまりコンサート」は基本的な感染対策を実施して

取り組みます。また、新たな取り組みと掲げているリハーサル室利用者による「文化祭」については、令和8年の関内ホールが40周年となる年の周年事業のひとつとして具体化を進めます。

〈地域の賑わいへの貢献〉

馬車道商店街との連携により、毎年5/9に開催する“あいすくりーむ発祥記念イベント”と連携し大ホールでコンサートを実施するほか、10/31から4日間の日程で実施する“馬車道まつり”と連携した“アートフェスタ”を開催します。馬車道商店街事務局や近隣の大学などとの文化活動における連携には関内ホールがコアとなり、地域のにぎわいづくりに寄与します。

〈情報提供及び広報〉

神奈川新聞の広告やテレビ神奈川のスポットCM及び番組内告知など、当事業体ならではのマスメディアを最大限活用した広報活動を行います。タウンニュースや広報よこはまなど地域の情報誌を活用するとともにSNSやネット広告など様々な媒体を駆使してより多くの市民に必要な情報を提供できるように積極的な広報を行います。メールマガジンについてはその他ツール、LINEなど利用者のニーズ、時代に即した情報発信を取り入れます。

(2) 集会や講演会利用への施設の取組み

専門スタッフによるきめ細かな利用アドバイスと、公演実施に必要となる生花、お弁当、看板等の手配をワンストップで提供する“ステージコンシェルジュサービス”により、引き続き利用者のサポートに努めるほか、ポストコロナにおける、大・小ホールに既設の「リアル動画配信システム」を活用した講演会、発表会、集会等の利用について広くサポートしていきます。

(3) 施設運営

アンケート回答等、利用者の意見を基に業務改善のPDCAを行う「責任者会議」を毎月定期的を実施することで利用者目線に立った業務改善に取り組み、利用者ニーズの把握と満足度の向上に努めるほか、各種利用割引優遇制度やマイ練習プラン、ステージコンシェルジュ等の利用者サービスと、大・小ホールに既設のリアル動画配信システムの無償提供を継続することで更なる利用率の向上に努めます。その他、利用者から要望が多い大・小ホールの利用時間延長への対応や、公演チケットの委託販売業務等についても引き続き実施していきます。

また、令和5年度11月にリニューアルとなった予約システムについては、堅実な利用者サービスを提供できるよう職員一丸で取り組みます。

(4) 施設管理

大規模改修工事で更新及びオーバーホールされた設備機器類及び内装類を機能維持するだけでなく、更新されなかった設備機器類が良好な状態を保てるように維持すること、並びに保安警備業務の徹底、日常清掃の継続によって、常に安全で快適な環境を関内ホール利用者、付属店舗、青少年育成センターに提供できるように施設管理業務を努めていきます。

また感染対策には、状況に応じアルコール消毒剤での拭掃、効率的な外気導入換気を継続して実施します。

(5) 収支

指定管理料のみに依存しない収入構造や経費削減などの効率的な運営を行うために、様々な努力や工夫による収入の増加と費用の減少を図ります。

収入面においては、各種サービスや割引優遇制度を継続、マイ練習プラン等の実施により利用率向上に取組むことでの利用料収入の増加や、魅力的な自主事業の実施とそれに伴う広報、PR活動の積極的な取り組みによる事業収入の増加に努めます。

一方、費用面においては、適正人員の配置と業務の平準化、可視化、効率化による人件費削減や、事業実施時における舞台技術の内製化による事業費削減、建物や設備における予防保全の徹底による維持管理費の削減に努めることで全体的な運営費の減少を図ります。

また、質の高い事業企画による企業協賛や公的助成金の取得についても、引き続き積極的に取り組みます。

(6) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

事務所、警備、設備、清掃、舞台等のセクションごとに管理日報を作成し、サーバーで一元管理を行います。報告事項については管理月報としてとりまとめ、月次のモニタリング会議において横浜市へ報告します。

業務計画書ならびに業務報告書、業務評価表については、年度ごとに作成し横浜市へ提出します。

6 使命の指標の達成状況

(1) 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R4実績	R5達成指標	R5実績	R6実績	R7実績	R8達成指標	R8実績	
1	貸館利用率	大ホール	—	94.1%	—	—	—	95.0%	—
		小ホール	—	83.7%	—	—	—	86.2%	—
2	総来場者数	—	280,000人	—	—	—	310,000人	—	
3★	リハーサル室利用者による文化発表会の実施	—	年1回	—	—	—	年1回	—	
4★	業務改善のためのPDCAサイクルとして定期的に責任者会議を実施	—	月1回	—	—	—	月1回	—	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の	R4実績	—

状況について の現状把握	R 5 達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
	R 5 実績	—
	R 6 実績	—
	R 7 実績	—
	R 8 達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
	R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

- ・貸館利用率の向上を図るため、割引優遇制度を行うとともに、新規利用者を開拓するために「マイ練習プラン」を実施し、「生中継動画配信設備」は引き続き無償提供します。
- ・業務改善のためのPDCAサイクルとして日常的に利用者アンケートを実施するとともに、定期的な責任者会議を実施し、利用者満足度の向上に努めます。
- ・リハーサル室の利用者による舞台発表の実施について具体化を進めます。

(2) 使命2 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	鑑賞型事業のメニューのジャンル数、実施回数及び入場者数	—	7ジャンル 44回 29,000人	—	—	—	7ジャンル 44回 35,500人	—
2	体験型事業の事業数及び実施回数	—	6事業 17回	—	—	—	6事業 17回	—
3	アウトリーチ事業の実施回数	—	年2回	—	—	—	年2回	—
4	来場者(参加者)満足度(アンケート集計)	—	事業アンケートで「満足」以上の回答85%	—	—	—	事業アンケートで「満足」以上の回答90%	—
5 ★	ソーシャルインクルージョンに配慮した事業の実施数	—	6事業	—	—	—	8事業	—
6 ★	公的な文化芸術事業へ協力を行った数	—	5事業	—	—	—	5事業	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の	R 4 実績	—

	定性分析	R 5 達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行う
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行う
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

- ・ソーシャルインクルージョンに配慮した取組として、地域の障がい者支援施設や社会福祉協議会などと連携し、障害のある方々が安心して鑑賞できる機会の提供に努めます。
- ・主催事業のアンケート調査において「満足」以上の回答 85%以上を目指します。
- ・事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗い出しを行います。
- ・横濱ジャズプロムナード、ヨコハマ映画祭、心の教育バレエの世界等、公的な文化事業の実施に向けた協力を行います。

(3) 使命3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	子どもをターゲットとした事業数	—	10 事業	—	—	—	10 事業	—
2 ★	玄関前ステージでの公募型ストリートライブ定期開催数	—	10 回	—	—	—	10 回	—
3 ★	新進アーティスト支援を目的とした事業数	—	5 事業	—	—	—	5 事業	—
4 ★	学校プログラムへの協力	—	2 校	—	—	—	2 校	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	子どもたちや学校の定性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行う
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—

		R 8 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行う
		R 8 実績	—
2	新たに参加した人の属性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活かす
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活かす
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

- ・ 玄関前ステージを利用した公募のストリートライブについて、10回を目標に実施します。
- ・ 音楽やダンス等、新進アーティスト（若手アーティスト）支援を目的とした事業について、今年度は5事業を実施します。
- ・ 学校プログラムについて、市内の小学校2校以上を担当します。
- ・ コンサートや演劇、ワークショップ事業など、子どもを対象とした事業について、4事業を実施します。
- ・ 参加者を対象とした事業アンケート・聞き取り調査は継続的に行い、感想や意見等から定性分析を行い新規事業や広報戦略につなげます。

(4) 使命4 地域のにぎわいを創出する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	—	10 事業	—	—	—	10 事業	—
2 ★	デジタルアーカイブ（関内ホール動画コレクション）に地域イベント等の新規タイトルを追加	—	10 本追加	—	—	—	10 本追加	—
3 ★	馬車道商店街とのヒアリングを実施	—	毎月1回	—	—	—	毎月1回	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	連携した	R 4 実績	—

ことによる地域の定性分析	R 5 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う
	R 5 実績	—
	R 6 実績	—
	R 7 実績	—
	R 8 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う
	R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

- ・ “あいすくりーむ発祥記念の日” および “馬車道まつり” について、馬車道商店街との並び主催によるコンサートを実施するなど、地域の施設・団体等との連携事業を7件以上実施します。また、地域の祭事等について施設の提供や人的サポート等の協力を行います。
- ・ 地域の関連団体（関内まちづくり振興会など）とは日常的な意見交換を実施し、文化事業に限らず地域の発展につながるような取り組みを行います。
- ・ 当共同事業体と連携している、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザの3館連携事業については、インクルーシブな企画を引き続き取り組みます。

(5) 使命5 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	—	0件	—	—	—	0件	—
2	法定点検等の実施	—	100%	—	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	—	90%	—	—	—	90%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う。
		R 8 実績	—
2	管理運営	R 4 実績	—

	費推移の 要因分析	R 5 達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行う。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行う。
		R 8 実績	—
3 ★	中期修繕 計画の策 定と見直 し	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する。
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

- ・空調や清掃、誘導サインなどに関し、主催者・来場者双方からの意見を受け取れるように取り組みします。
- ・PDCA サイクルに基づく施設管理を徹底することによって、施設管理瑕疵に起因する事故発生件数0の達成を目指します。
 - P：年間作業計画表の作成と維持管理マニュアルの作成
 - D：作業計画に沿った適切な業務と日常巡回点検の実施
 - C：責任者と技術員による多段階のチェック体制
 - A：年間作業計画表の作成及び見直し
- ・修繕予算に応じた修繕の実施を心掛けますが、緊急度の高い修繕案件が発生した場合は、速やかな対応策を修繕予算残額にこだわることなく検討します。

令和6年度 「横浜市市民文化会館関内ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	142,260,140		142,260,140		142,260,140	横浜市より
利用料金収入	70,300,000		70,300,000		70,300,000	
自主事業収入	31,150,000		31,150,000		31,150,000	
雑入	29,591,970	0	29,591,970	0	29,591,970	
自動販売機手数料	1,760,000		1,760,000		1,760,000	
育成センター施設負担金	12,145,970		12,145,970		12,145,970	
附属店舗賃借料・共益費・電気料	12,826,000		12,826,000		12,826,000	市に納付の附属店舗貸付料を含む
その他(チケット販売手数料等)	2,860,000		2,860,000		2,860,000	チケット販売手数料、物販手数料 他
収入合計	273,302,110	0	273,302,110	0	273,302,110	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	54,835,140	0	54,835,140	0	54,835,140	
給与・賃金	47,145,140		47,145,140		47,145,140	
社会保険料	5,980,000		5,980,000		5,980,000	
通勤手当	1,710,000		1,710,000		1,710,000	
健康診断費	0		0		0	0
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	出向者分は共同事業体各社にて負担
退職給付引当金繰入額	0		0		0	出向者分は共同事業体各社にて負担
事務費	17,341,000	0	17,341,000	0	17,341,000	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	1,320,000		1,320,000		1,320,000	
会議賄い費	30,000		30,000		30,000	
印刷製本費	260,000		260,000		260,000	R5年度より広報費1,760,000を減額、自主事業費に付け替え
通信費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	チケット・チラシ配送費、郵券代含む
使用料及び賃借料	10,887,000	0	10,887,000	0	10,887,000	
横浜市への支払分	10,887,000		10,887,000		10,887,000	定期建物賃貸借契約貸付料(附属店舗)、目的外使用料(飲料自販機6台分、ドリンクコーナー)
その他	0		0		0	
備品購入費	360,000		360,000		360,000	
図書購入費	10,000		10,000		10,000	
施設賠償責任保険	113,000		113,000		113,000	業務災害補償保険(補償対象者：自主事業時のアルバイト)を含む
職員等研修費	100,000		100,000		100,000	
振込手数料	360,000		360,000		360,000	
リース料	1,791,000		1,791,000		1,791,000	無線機、コピー複合機、紙折機、パソコン、PC本体・保守、AED 他
手数料	70,000		70,000		70,000	チケット代引き手数料 他
地域協力費	810,000		810,000		810,000	馬車道商店街協同組合費、住吉町町内会費、全国・県公文協会費
事業費	31,260,000	0	31,260,000	0	31,260,000	
自主事業費	31,260,000		31,260,000		31,260,000	自主事業費29,500,000+広報費1,760,000
管理費	165,616,000	0	165,616,000	0	165,616,000	
光熱水費	38,877,000	0	38,877,000		38,877,000	
電気料金	28,170,000		28,170,000		28,170,000	
ガス料金	6,607,000		6,607,000		6,607,000	
水道料金	4,100,000		4,100,000		4,100,000	
清掃費	20,068,000		20,068,000		20,068,000	
修繕費	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
舞台管理技術委託費	49,016,000		49,016,000		49,016,000	
機械警備費	1,040,000		1,040,000		1,040,000	
設備管理費	52,615,000	0	52,615,000		52,615,000	
空調衛生設備保守	13,754,000		13,754,000		13,754,000	
消防設備保守	4,754,000		4,754,000		4,754,000	
電気設備保守	11,991,000		11,991,000		11,991,000	
害虫駆除清掃保守	810,000		810,000		810,000	
駐車場設備保全費	165,000		165,000		165,000	
その他保全費	21,141,000		21,141,000		21,141,000	
共益費	0		0		0	
公租公課	5,380,465	0	5,380,465	0	5,380,465	
事業所税	0		0		0	
消費税	5,190,465		5,190,465		5,190,465	
印紙税	47,000		47,000		47,000	
その他(国税・地方税)	143,000		143,000		143,000	預金利息の国税・地方税、中区法人市民税均等割り額
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,203,000	0	1,203,000	0	1,203,000	
本部分	715,000		715,000		715,000	経理事務負担金及び確定申告税理士報酬負担分
当該施設分	488,000		488,000		488,000	新聞購読料、一般廃棄物処理費、機密文書溶解処理費、粗大ごみ処理費等
支出合計	275,635,605	0	275,635,605	0	275,635,605	
差引	△ 2,333,495	0	△ 2,333,495	0	△ 2,333,495	

自主事業費収入				0	
自主事業費支出				0	
自主事業収支				0	

管理許可・目的外使用許可収入				0	
管理許可・目的外使用許可支出				0	
管理許可・目的外使用許可収支				0	